

温室効果ガス削減に向けた県内企業の取組支援

- 県内企業の保有するシーズをもとにした温室効果ガス削減に資する取り組み（研究開発・設備投資等）を支援し事業化を促進。

○県内企業の取組事例

【(株) アクシス (鳥取市) 電源トレーサビリティシステムの開発】

- ・太陽光発電等、再生可能エネルギーの利用を進めるため、発電元が可視化されるトレーサビリティシステムを開発。(電力メーターの計測値を集約し、どこの発電所から供給されているかを解析。ユーザーは利用電源の内訳をスマートフォン等で表示・確認可。)

【(株)鳥取再資源化研究所 (北栄町) 使用済み太陽光パネルのリサイクル化を実現】

- ・大量廃棄が予想される太陽光パネルのリサイクル技術を開発。課題であったリサイクル過程での有害物質の溶出を「使用済みガラス製品の無害発泡化技術」(特許)で不溶化し、土壌・水質改良に役立つリサイクルガラス発泡体「ポーラスα」(鳥取県グリーン商品認定、H30)の製造に着手。
- ・太陽光パネルのリサイクル事業を丸紅グループと共同実施する戦略的業務提携を締結。(R元)
- ・また、山口東京理科大と連携しポーラスαを活用した微生物電池を開発。12月より実証実験開始。

【王子製紙(株)(米子市) 木材チップから石油由来素材(衣料用レーヨン等)の代替原料を製造】

- ・木材チップを加水分解して溶解パルプ(DP)を製造。石油由来の衣料用レーヨンの代替原料として、境港から中国等に輸出している。出荷額も100億を超える、米子工場の柱の一つ。
- ・同社は世界各国で植林活動を進めており、カーボンニュートラルに積極的に取り組んでいる。

【大宝工業(株)(鳥取市) 紙パルプをプラスチック代替品に成型するPIM(ピム)技術の開発】

- ・紙パルプと食品由来のでんぷん(結合剤)を混合し金型に射出成型して乾燥固化させることで、プラスチックの代替製品を製造可能とする技術。
- ・本年6月、大手回転ずしチェーンの景品用プラスチックケース代用品に採用(全国展開の見込)。

【(株) ケイケイ (八頭町) 100%天然素材のバイオマス材料フェーセロンの開発】

- ・竹をはじめとする非食用植物を主原料とする「フェーセロン」(プラスチック代替の新素材)を開発。
- ・同素材で植生シート用止め具「Eーピン」(鳥取県グリーン商品として認定、R2)、「エコ植木鉢」(第64回全国植樹祭鳥取大会H25で採用)、「はし」等を製造。

【(地独) 鳥取県産業技術センターによる技術研究】

- ・リチウムイオン電池の高容量・長寿命化を実現するケイ素系活物質の開発及びその製造方法の開発を目指す。(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の助成事業に採択され、本年11月研究開始。)

<関連する支援事業>

○中小企業調査・研究開発支援補助金(H20~)

- ・県内中小企業が新事業創出に向けて行う新たな製品・技術の開発に係る経費を補助
- 【ジーニア&アーレイ鳥取(株)】(鳥取市)アリーナ、スタジアム用高輝度・高効率・軽量のLED照明器具の開発。
- 【(株)トライアングル】(米子市)低消費電力・コンパクトな細胞保存用超低温フリーザの開発。

○先端ICT地域プロジェクト型開発・実証支援補助金(H27~)

- ・先端ICT技術を活用したサービス等の開発・実証事業への補助
- 【(株)アクシス】前述

- 【(株)中海テレビ放送】(米子市)スマートメーターを活用した余剰電力の取引プラットフォームを開発。

○鳥取県グリーン商品認定制度(H15~)・リサイクル製品販売促進事業補助金(H17~)

- ・循環資源(廃棄物、間伐材等)を原材料として県内で製造されたりサイクル商品を「鳥取県グリーン商品」として認定し、商品の販路拡大を行う。(666製品(60事業者)を認定)
- ・県認定グリーン商品等の販路拡大を目的とした展示会等への出展経費の補助。

○鳥取県産業成長応援補助金(R元~)

- ・鳥取県産業成長応援条例に基づいて認定を行った企業等の新たな取組及び設備投資等への補助。